

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2403 号

Depigmentory Effects of Keishibukuryogankayakuinin in Human Epidermal Melanocytes

ヒト表皮メラノサイトにおける桂枝茯苓丸加薏苡仁の色素沈着抑制効果

秋本 夏穂 (あきもと かほ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、桂枝茯苓丸加薏苡仁(KBY)のメラノサイトに対する効能効果を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。KBY は、シミの改善を目的に臨床でも広く使われている薬だが、漢方薬は、科学的な根拠に欠けており、迅速な解明研究が進められているのが現状である。KBY に関しても、その効能やメカニズムに関する研究は殆どされていない。本研究では、酪氨酸酵素であるチロシナーゼに注目し、KBY、桂枝茯苓丸(KB)、薏苡仁(CS)を紫外線照射下と非照射下で比較検討することで、KBY の効能効果を検証した。また本研究は、それぞれの漢方薬の構成生薬の特徴を踏まえて、KBY、KB、CS を比較対象としたこと、Fontana-Masson 染色および細胞生存率を測定することにより、細胞増殖抑制、至適濃度の検証を行った上で、チロシナーゼの活性および発現を測定することで、経験的に見出された漢方薬の構成成分の意義やメカニズムの解明を行ったことが特徴的である。更なる研究は必要だが、結論として、KBY は日焼け後に服用することによって、シミを抑制する効果を発揮し、また KB と CS を混合することはシミの抑制に有効であることが示唆された。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。